

教科(科目)	地理・歴史(地理A)	実施学年 (履修規定)	第3学年 (選択)
単位数	商業科 2単位 食物科 2単位 生活文化科 2単位 福祉科 2単位	教科書	高等学校 改訂版 地理A 世界の暮らしを学ぶ (第一学習社)
		副教材	標準高等地図 一地図で読む現代社会一 初訂版 (帝国書院)
科目の目標	現代社会の諸課題について地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会が抱えている諸課題を、地理的に考察できるようにする。 ・作業的な学習を通して、地理的情報の収集およびそれらを活用する地理的技術の向上を図る。 ・広い視野から地球的課題の解決をめざす日本の役割について考えさせる。 		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	球面上の世界と地図	<ul style="list-style-type: none"> ・球面上の世界 ・世界地図の特徴 ・新しい地図表現の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・作業学習 ・ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業に参加している ・時差の計算ができる ・世界地図の特徴を理解する ・略地図が描ける
5	グローバル化する現代社会	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化のなかの国家 ・国家をこえた結びつき ・交通機関の発達と縮小する地球世界 ・情報・通信で一体化する世界 ・人・「もの」・資本で結びつく世界 		<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に参加し活動している ・貿易額と輸出入構成のグラフを作成する ・国家・地域間の結合を理解する
中間考査 (時差の計算, 世界地図の種類と特徴, 領土問題, 地域統合等)				
6	多様化する世界の人々の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活の地域性 ・世界の人々の余暇活動 ・多様化・個性化する余暇活動とボランティア活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・作業学習 ・ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に参加し活動している ・紙上海外旅行ができる
7	身近な地域の調査	<ul style="list-style-type: none"> ・地形図から見た地域の特徴 ・地域調査の方法 		<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に参加し活動している ・日本の食料の輸入先を示す地図を作る
期末考査 (多様化する世界の人々の活動についての理解, 地形図の読図, 統計地図の読み方等)				
8	夏季休業	・第2回実力テスト(9月実施)に向けての家庭学習		
9	世界の人々の生活を取りまく環境	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな地形と生活 ・世界的視野からみた地形 ・世界的視野からみた気候 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・プリント ・白地図 ・ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に参加し活動している ・プレートテクトニクス理論を理解している ・世界の気候区分を理解している ・ハイサーグラフを作成する
10	世界の諸地域と生活・文化と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・西アジア・北アフリカの暮らしを学ぶ ・ヨーロッパの暮らしを学ぶ ・オセアニアの暮らしを学ぶ ・南北アメリカの暮らしを学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・白地図 ・ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・西アジア・北アフリカ・ヨーロッパ・オーストラリアの地形・都市を記入する ・アメリカの地形・都市・農業地域を記入する ・積極的に参加し活動している
中間考査 (世界の大地形, 世界の気候, アメリカ・西アジア・北アフリカ・EUの暮らしについての理解等)				

月	単 元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
1 1	近隣諸国の生活 ・文化と日本の 関係 さまざまな地域 からみた地球的 課題	・近隣諸国の学習 ・中国の生活・文化と日本 ・韓国の生活・文化と日本 ・ロシアの生活・文化と日本 ・地球的課題の地理的な考え方 ・人口問題 ・食料問題 ・居住・都市問題 ・資源・エネルギー問題	・授業観察 ・白地図 ・ノート	・積極的に参加し活動している ・朝鮮半島や中国の地形や都市 名等を記入する ・ロシアの地形と主な都市名を 記入する ・各国の人口ピラミッドを作成 する ・エネルギーの消費量と生産量 による分類表を作る
1 2		・地球環境問題		・積極的に参加し活動している ・国際的な協力が不可欠である と理解している
期末考査 (韓国・中国・ロシアの暮らしと日本との関係等)				
1		・地球的課題に対する日本の取り組みと国際協 力		・積極的に参加し活動している ・日本の国際貢献のあり方につ いて考える
学年末考査 (環境問題, NGOの活動等)				

評価の観点及び趣旨

① 関心・意欲・態度

現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。

② 思考・判断

現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。

③ 技能・表現

地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代社会の地理的事象を追求する技能を身に付けるとともに、追求した過程や結果を適切に表現する。

④ 知識・理解

現代社会の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身に付けている。

「地理A」の総合評価における各観点の割合

① 関心・意欲・態度	20%程度	② 思考・判断	30%程度
③ 技能・表現	30%程度	④ 知識・理解	20%程度